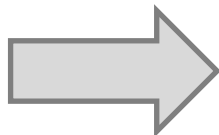


主に表現の領域を
中心として

【 劇遊び 】

*協同性 *言葉による伝え合い
*数量・図形、文字等への関心・感覚
*思考力の芽生え *豊かな感性と表現

小道具、衣装づくり
(自発活動のなかで)



本日の活動について共通理解する

○劇遊びに必要なものをつくり出す 創造する。

★遊びに必要な場、環境を整える。

どれくらいの材料がある？
5人分だから5枚いるよ

朝の時間でこんなのを
つくっておいたよ
家でも考えてつくって
みたよ

昨日氷の国で遊んだけど、氷が足りなかったからつくらないとペンギンの服もいるよ



▲生活の中で、必要感からの数量の認識

どうやってつくったの？
こうしたらうまくいくよ

○活動に親しみをもちイメージをもってついたり描いたりする。

▲友だちと共通の目的に向かうなかで、自己の役割への意識をもったり、自己発揮したりする。

後でテープかしてね
そのビニール袋、こっちにも分けて

▲共同の道具や材料を大切にし、みんなで使うという集団生活のなかでのルールを守る。

○友だちに尋ねたり、教えたりなど方法や考えを伝え合う。

▲知識や技術を友だちと共有する。

△幼児の興味、関心からの取り組みの展開。

△クラス全体での話し合いや振り返りの視点の提示、問題提起。

★幼児の発想を豊かにするための環境構成。

△幼児の考えを整理し、クラスで共通理解するための視覚的支援。

- (ねらい)・友だちと考えを出し合い、協力して劇をつくり上げることを楽しむ
- ・最後まで責任をもってやり遂げることで、満足感、達成感を味わう



▲生活体験の模倣をしている。

○周りが暗いはずなのに普通に歩いている。

もういい加減にしないで!

ここはどこだ
ワレワレハ宇宙人ダ!

周りが見えないから
手で探したらいいよ

言葉はもっと大きな声で言
ったらいいと思う
隠れているのに見つかって
しまうよ



ごめんなさい

〇〇さんの歩き方、ゆ
っくり怖そうに歩い
ていたよ

おもしろいお話
がつくれたね
年少さんにも見
せたいな

○生活経験や知識を基に、表現方法を考える。

○自分が気付いたことや考えたことを、相手にわかるように話す。

▲友だちの良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。友だちの表現を自分にも取り入れようとする。

▲自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう。

▲自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることを聞いて、考えの違いに気付く。

▲充実感、達成感を味わう。次回への期待をもつ。

○次回必要なものを考え、次回の活動への見通しをもつ。

知識及び技能の基礎

友だちの様子や言葉から気付く 気付いたことや考えたことを、言葉や身体表現で表す
必要感に基づいて、自分で場や道具を用意する

思考力・判断力・表現力等の基礎

話し合い 物や道具に触れてイメージを浮かべる
予想・想像 劇遊びの会に向けて、見通しをもつ 試行錯誤する 工夫する

学びに向かう力・人間性等

期待感をもって取り組む 好奇心 協力 役割分担 探求心 伝え合い、教え合い
目的の共有、共通理解